

基底となる指導計画 新様式

※太字 ～新設項目

教科等	作業学習		
対象学年	家庭総合科		
教科の目標	家庭の生活に関わる見方・考え方（生活産業に関する事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の伝承、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、生活の質の向上や社会の発展と関連付けること）を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、流通業やサービス業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人として必要な資質・能力を育成する。		
	○本校における資質・能力と「将来の生活に向けて授業で身に付ける力」との関連		
	（１）知識・技能「学習に意欲的に取り組み社会生活に必要な勤労観や礼儀作法などの確かな知識や技術などを身に付ける」	・製品の出来栄へのよさや改善点を感じとる力	
	（２）思考力、表現力、判断力等「自ら課題を見つけ、主体的に判断し、個性を発揮して、思いや考えを対話等で表現する」	・考える力 ・創造する力	
	（３）学びに向かう力、人間性等「様々な学習を意欲的・主体的に行い、自分の生きがいを見つけ、役割を自覚し、協力し合いながら社会に貢献する」	・最後まで取り組む力 ・自他の違いに気づき、互いを認め合う力	
教科を学ぶ意味や価値	○家庭の生活に関わる産業の見方・考え方 構築等の視点で捉え、生活の質の向上や社会の発展と関連付けること		
	○家庭総合科で学ぶ意義		
	・手芸、被服の製作、調理についての興味・関心を高め意欲的に実習する態度を育てるとともに、基礎的、基本的な知識と技術の育成に努める。		
	・各種の器具や機械などの取り扱いや保管・管理に必要な知識と技術を習得し、安全や衛生に気を付けながら実習する。		
		改善等通知 評価の観点及びその趣旨より	各科の代表的な評価の観点
	知・技	・生活産業に関することについて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	・ミシンやロックミシンなどを安全に使用している。
評価場面 評価方法	思・判・表	・生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題解決する力を身に付けている。	・製品の出来栄を確認し、よりよい製品を作るための工夫やこつを考えながら取り組もうとしている。
	主体的	・よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	・自分の担当する作業に主体的に取り組もうとしている。 ・リーダー(日直)の指示の下、全員が協力して主体的に取り組もうとしている。
	○（知・技） 道具や生地などの扱い方、製品の出来栄 ○（思、表、判） 製品づくりの工夫、ワークシートの取り組み、発問への応答 ○（主体） 学習態度（集中、持続、意欲）、作業日誌（振り返り）、授業への出席状況		
学習上の留意点	○縫工実習の心得		
	・挨拶、返事、報告をしっかりとる。 ・道具や生地を大切に扱う。 ・誰に対しても言葉遣いに気を付ける。 ・仲間と協力して作業をする。		
各学年の目標	1 学年（基礎）	2 学年（発展）	3 学年（応用）
	（知・技） ○生活産業に関することについて理解するとともに、関連する <u>基本的な技術</u> を身に付けるようにする。	（知・技） ○生活産業に関することについて理解するとともに、関連する <u>発展的な技術</u> を身に付けるようにする。	（知・技） ○生活産業に関することについて理解するとともに、関連する <u>応用的な技術</u> を身に付けるようにする。
	（思、表、判） ○生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえて学習をしたことを振り返り、考えたことを表現するなど、 <u>自分の課題を解決する力を養う</u> 。	（思、表、判） ○生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえて <u>解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う</u> 。	（思、表、判） ○生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえて <u>解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う</u> 。
	（学、人） ○職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して学び、社会貢献に <u>主体的に</u> 取り組む態度を養う。	（学、人） ○職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に <u>協働的に</u> 取り組む態度を養う。	（学、人） ○職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に <u>主体的かつ協働的に</u> 取り組む態度を養う。

学期	主な学習内容		
	1 学年（基礎）	2 学年（発展）	3 学年（応用）
	・家政に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。 ・学習活動の振り返りや多様な考え方に気づき、自己理解を深める。	・家政に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、発展する。 ・学習活動の振り返りや多様な考え方を通して、自己理解を深め、人間関係形成能力を養う。	・家政に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得、応用する。 ・学習活動の振り返りや多様な考え方を通して、自己理解を深め、自己管理能力を付けるとともに人間関係形成能力を向上させる。
1	☐ オリエンテーション ・授業中のルールとマナー ☐ 被服 ・手縫い基礎（刺し子布巾縫い） ・道具の扱い（印付け、裁断） ・ミシン縫い基礎（平面的な製品） ☐ 調理 ・衛生の基本（服装、身だしなみ、衛生管理、入室手順、調理器具、洗い物、掃除） ・簡単なパン（丸形、コッペパン） ☐ 織り（カランコ） ・平織 ☐ 地域連携 ☐ 1学期のまとめ	☐ オリエンテーション ・授業中のルールとマナー ☐ 被服 ・ミシン縫い発展 ・小、中型バッグ ・ファスナー付きの製品 ☐ 調理 ・成形がやや難しい製品 ☐ 織り ・平織 ☐ 手芸 ☐ 地域連携 ・保育所訪問 ・訪問販売活動 ☐ 1学期のまとめ ☐ 大掃除	☐ オリエンテーション ・授業中のルールとマナー ☐ 被服 ・ミシン縫い発展 ・小、中型バッグ ・織り地を使用した中型バッグ ・ファスナー付き大型バッグ ☐ 調理 ・成形が難しい製品 ☐ 織り ・平織 ☐ 手芸 ☐ 地域連携 ・イベントカフェ準備 ☐ 1学期のまとめ ☐ 大掃除
2	☐ 被服 ・ミシン縫い基礎 ・やや立体的な製品 ☐ 調理 ・簡単なパン（丸形、コッペパン） ・後期の新メニュー準備 ☐ 織り ・平織 ☐ 地域連携 ・イベントカフェ ☐ 2学期のまとめ ☐ 大掃除	☐ 被服 ・ミシン縫い発展 ・中型バッグなど ☐ 調理 ・成形がやや難しい製品 ・後期の新メニュー準備 ☐ 織り ・平織 ☐ 手芸 ・次年度用の製品 ☐ 地域連携 ・保育所訪問 ・訪問販売活動 ☐ 2学期のまとめ	☐ 被服 ・ミシン縫い発展 ・卒業制作（個人） ☐ 調理 ・成形が難しい製品 ・後期の新メニュー準備 ☐ 織り ・平織 ☐ 手芸 ☐ 地域連携 ・イベントカフェ ☐ 2学期のまとめ
3	☐ 被服 ・ミシン縫い基礎 ・やや立体的な製品 ☐ 調理 ・簡単なパン（丸形、コッペパン） ・次年度に向けて試作 ☐ 織り ・平織 ☐ 地域連携 ・保育所訪問 ・訪問販売活動の準備 ☐ 3学期のまとめ ☐ 大掃除	☐ 被服 ・ミシン縫い発展 ・曲線縫いの中型バッグなど ☐ 調理 ・成形がやや難しい製品 ・次年度に向けて試作 ☐ 織り ・次年度用の製品 ☐ 手芸 ・次年度用の製品 ☐ 地域連携 ・保育所訪問 ・訪問販売活動 ☐ 3学期のまとめ ☐ 大掃除	☐ 被服 ・ミシン縫い応用 ・卒業制作（個人） ☐ 調理 ・成形が難しい製品 ☐ 織り ・次年度用の製品 ☐ 手芸 ・次年度用の製品 ☐ 地域連携 ・受注販売 ☐ 学科製品販売会 ☐ 3年間のまとめ ☐ 大掃除
時数	297.5 時間	455 時間(R5～437.5 時間)	455 時間(R6～437.5 時間)
備考	・地域連携：保育所訪問 ・地域連携：訪問販売活動 ・地域連携：イベントカフェ		